

# 「予防教育」の実際と可能性

山崎 勝之

鳴門教育大学予防教育科学センター所長

## 第9回 —— 予防教育の導入手順

さて、連載も今回を含めて残り2回となった。最後2回は、学校への導入を促し、目下の全国普及の流れを加速させるための紹介となる。

まずは、予防教育を導入したいという学校のために、その手順を紹介したい。かなり整理され、実際に機能している手順で、実効性は高い。

### 1 導入の道筋は簡単、明確

予防教育の開発段階では学校教員が現場で実施しやすいということはあまり考慮せず、とにかく子どもたちを引きつけ、効果がある教育の開発を目指した。いくら実施しやすくとも効果が無ければ意味がないと考えたからである。

教育の開発が進み、実施して効果があることが分かりますと、ようやく実施しやすさが気になりました。そこには教材の準備の容易さも含まれる。全国普及を目指しているのだから、センターが手取り足取りの指導を前提とするのではその達成はおぼつかない。

そこで、学校側が主体的に単独で取り組む方途と手順を明確に規定した。その手順は、写真1の冊子にまとめられ、記載の通りに進むと学校側が独立して実施することができう。そのポイントを紹介してみよう。

### 2 模範の授業を見て欲しい

まずは何と言っても、センターのスタッフが実施する授業を参観してほしい。模範の授業を見ることから始めて欲しいということになる。予防教育の授業は他にはない特徴満載

なので、一目瞭然でその特徴が分かり、次のステップに進む推進力をここで得る。

センターのウェブ・サイト (<http://www.naruto-u.ac.jp/center/prevention/> 「予防教育学」で検索) にはセンターによる出張授業の予定が紹介されているので、そこでの指示に従って参観していただくことができる。

また、他の学校でなくてもご自分の学校で出張授業が実現できるので気軽にセンターに相談していただきたい。出張授業は、実施クラスの担任との座席表

作成の打ち合わせ以外は、すべてセンター側が準備して実施するので学校側の負担はない。



写真1. 予防教育を学校主導で実施する手順を紹介した冊子

### 3 予防教育コーディネーターの誕生とその動き

模範授業を見ていただいた教員を中心に、「予防教育コーディネーター」を1名以上設定していただく。コーディネーターの役割は大切で、センターと連絡を密にし、教育が円滑に進む手配等を行うことになる。

学校主導で進めてもらうと言っても、後述するようにセンターからのサポート体制は万全である。ただ実施校は全国に広まりつつあるので、センター側から率先して連絡をとるというよりも、コーディネーターからの連絡や要請にセンターのサポートが機動するという動きである。要請があれば十分にサポートを行う準備はできている。

### 4 授業DVD受け取りから授業教材作成まで

次のステップは、実際に授業を実施し始めることになる。ここで、ど

の学年の、どの授業を実施するのかを決める必要がある。これまで紹介してきたように、予防教育は授業の規模が大きいこと、しかし、1学年の1教育、最短で4時間分から開始できることを再度強調しておく。教育の内容のおよそを理解していただき、学校側のニーズに合わせて選択をしていただきたい。

実施する授業が決まれば、授業内容の詳細を知り、必要な教材を作成することになる。そのため、授業実用のDVDが学校に送付される（写真2）。DVDの中身は充実し



写真2. 授業実用DVDの1枚

ていて、教材作成用ファイル、指導案、板書計画、授業台本、アニメなどを含む授業進行用のパワーポイントファイル、一切適切が入っている。

また、写真1の冊子にも記載されているが、授業では省略できる教材や改訂できる授業内容などが示され、ある程度は学校側の裁量により変更ができるようになってい

### 5 センターからの手厚いサポート

学校主導で実施する場合に学校側が必要となるサポートは、まず教材

作成である。省略、代替、サイズ変更など柔軟な作成過程を示しているが、大型教材で学校側がどうしても使用したという教材が出れば、センター側が作成の上送付させていただく場合も多い。

次に学校側が必要になるサポートは、授業内容そのものの細部の運営である。この点についても、コーディネー

ターを中心にセンター側に積極的に質問をしていただければ、各府県担当のスタッフがいるので回答させていただく。この点などは、コーディネーターがいかに密接に連絡をとれるかが肝要で、授業の成否はコーディネーターの動きにかかっている。

また授業実施日時はセンター側に知らせていただき、要請があれば、いつでも出向き、授業についてのコメント等をさせていただくこともできる。それに、理論の説明など研修会の出張も行う。

### 6 自己学習用に整った資料群

最後に、これまでにセンターが作成した自己学習用の資料を紹介した（写真3～8）。現段階では、センターに連絡があれば、書籍以外は郵送させていただいている。

理論や方法、効果評価など分かりやすく解説をしているので、ぜひ御覧いただきたい。



写真3. 予防教育科学センターの活動全般を紹介した冊子

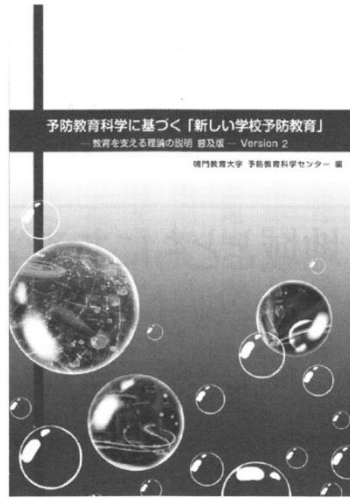


写真4. 予防教育の理論について分かりやすく説明した冊子

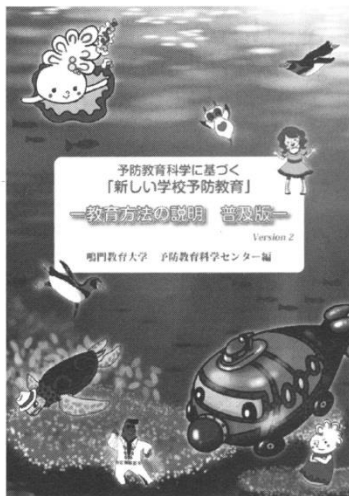


写真5. 予防教育の共通方法について説明した冊子



写真6. 効果評価の結果（第1段階目評価、本誌11月号参照）を紹介した冊子



写真7. 効果評価の結果（第2段階目評価、本誌11月号参照）を紹介した冊子



写真8. 予防教育の理論について専門的に説明した書籍